

2026年度 北見藤高等学校シラバス

2026年度 北見藤高等学校シラバス										
〔教科〕 〔科目〕	〔数学〕〔数学演習〕	3 年	3 単位	教科書		副教材等		履修対象・ 使用教室 等	フロンティア 3 年3組教室	
教科・ 科目・ の 目標	(1) 数学と人間とかかわりや数学の社会的有用性についての認識を深めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を積極的に活用する態度を育てる。 (2) 数学Ⅰ及び数学Aにおける基礎的な学力を向上し、就職・進学に向けた一般常識問題を解くための知識を身につける。 (3) 実用数学技能検定3級ならびに準2級の取得相当の学力を身に付ける。									
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	・基本的な概念、原理・法則、用語・記号など基礎的な知識を理解しているか。 ・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能が身についたか。			・数学的な見方や考え方の良さを認識し、事象を数学的にとらえ、論理的に考えることができるか。 ・身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとしているか。			・授業に集中し、他の生徒と共に協力し合いながら問題解決に取り組むことができるか ・家庭学習の習慣を身につけて、課題等の提出に積極的に取り組むことができるか。			
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。									
評価 資料・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テストならびに自由研究発表		前期・後期各2回、計4回予定、1月に自由研究発表予定				50	50		
	レポートならびに確認テスト		演習時に課される課題。				50	50	50	
	授業態度		授業を受ける姿勢や取り組み状況						50	
	〔観点別配分%〕		〔3観点の比重を%で示しています〕							
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など				主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
							知・技	思・判・表	態度	
4 5	【数学Ⅰ・A】 実践演習	22	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える				単元テストならびに自由研究発表			
							レポートならびに確認テスト	◎	◎	○
							授業態度			◎
6 7	【数学Ⅰ・A】 実践演習	25	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える				単元テストならびに自由研究発表	○	○	
							レポートならびに確認テスト	○	○	○
							授業態度			◎
8 9	【数学Ⅰ・A】 実践演習 大学の過去問演習 就職試験に関わる数学	18	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える ・それぞれの進路実現に向けて、習熟度に合わせた演習形式を行う。				単元テストならびに自由研究発表	○	○	
							レポートならびに確認テスト	○	○	○
							授業態度			◎
10 11	【数学Ⅰ・A】 実践演習 大学の過去問演習 就職試験に関わる数学	25	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える ・それぞれの進路実現に向けて、習熟度に合わせた演習形式を行う。				単元テストならびに自由研究発表	○	○	
							レポートならびに確認テスト	○	○	○
							授業態度			◎
12 1	【数学Ⅰ・A】 自由研究発表 大学の過去問演習 就職試験に関わる数学	15	・数学Ⅰと数学Aの内容を網羅した問題演習を徹底し、基礎基本の定着はもちろん、数学的な考え方と応用力を鍛える ・それぞれの進路実現に向けて、習熟度に合わせた演習形式を行う。 ・数学にまつわるテーマを設定し、調査、研究、分析、発表を通して、思考力、判断力、表現力の育成を図る。				単元テストならびに自由研究発表	◎	◎	
							レポートならびに確認テスト	○	○	○
							授業態度			◎
学習の アドバイス	・公式は暗記するだけでなく、それぞれの公式の意味を理解し、どう役に立つのかを考え、数学的な見方・考え方の良さを感じとれるようにしましょう。 ・解答は最終的な答えだけを重視するのではなく、どのように考え、どのような定理や公式を利用したか、どのように計算したかが明確になるように記述することを心がけましょう。 ・単元テストは授業及び日常の学習で培った学力を確認する場面になります。しっかりと復習し、確実に正解できる問題と正解を目指す問題を明確にすることで少しでも高い得点を目指しましょう。 ・日々の学習習慣を身に付けましょう。数学だけでも1時間以上の復習を皆さんに求めます。 ・単元テスト後はできなかった問題を放置せずに弱点の克服に努めましょう。									